



月刊富士見オリパラ新聞



限定1万個 オリンピックPR缶バッジ制作

制作は防府商工高校地域デザイン部

東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会でセルビア共和国のホストタウン・共生社会ホストタウンに登録されている富士見市は、大会の機運醸成を目的に、オリジナルのPR缶バッジを限定1万個制作した。

この缶バッジは、同じくセルビア共和国のホストタウンに登録されている山口県防府市との情報交換の中で制作のアイデアが生まれた。

制作は、地域のイベントや商品の提案などで地元の活性化を手伝っている山口県立防府商工高校地域デザイン部の市の公式マスコットキャラクター「ふわっぴー」を中心に据え、10種類のバリエーションを持たせた。

この缶バッジは、市が開催する東京2020



山口県防府市

山口県の中南部に位置し、瀬戸内海に面している。人口約11万人。登録競技は女子バレーボール。

オリンピック・パラリンピック競技大会に関連するイベントなどで配布する。

手話で 楽しもう

障がい福祉課 ☎372

【今月のテーマ】

Q. 新しい手話はどうやってつくられるの？

A. 手話の研究団体が決めたり、ろう者の間で自然と生まれたりします。

新しい手話は、国から手話表現の作成などを委託されている手話の研究団体によって決められます。また、手話を使う人同士が会話をする中で自然と生まれる手話もあります。

解説は、手話を用いた動画でも見ることができます。右記コードからご覧ください。



今月の季節の手話

▶12月



▶冬



▶クリスマス

